

# 市長所信表明



令和3年うるま市議会定例会  
(6月定例会)

本日ここに、令和3年6月第149回うるま市議会（定例会）が開催されるにあたり、私の今後4年間の市政運営についての基本的な考え方として、所信の一端を述べさせていただきます。

私は、去る4月25日に実施されました市長選挙におきまして、有権者の皆様の温かいご支持・ご支援の下、うるま市の第3代市長として、市政運営を担うことになりました。

多くの市民の皆様より信任を賜り、私に課せられた使命と責任の重さに、身の引き締まる思いであります。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により市民生活や地域経済活動などの厳しい状況が続く中、今回の新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられたすべての皆様に心から哀悼の意をささげると共に治療中の皆様にお見舞いを申し上げます。

更に、新型コロナウイルスとの闘いの最前線に立ち続ける医療従事者をはじめとする多くのエッセンシャルワーカーの方々の献身的なご尽力のおかげで、今日の私たちの暮らしがあります。心から敬意と感謝の意を表します。

本県は令和3年5月23日から6月20日までの期間で、国による緊急事態措置区域に追加されており、飲食業・社交業をはじめとする事業活動の自粛要請、行事・イベントの中止や規模縮小等により、私たちの日常生活に多大な影響をもたらしております。

そのような中、コロナ禍に苦しむ市民の皆様に寄り添い、必要とする行政支援をいち早くスピード感を持って届けることこそ、地方自治体の役割であると考えております。

そのためには、市職員のみならず、市民の皆様も合わせ、市全体が一丸となり、様々な取り組みを進めていく必要があります。

市民の皆様、議会の皆様には改めましてご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、本日は今後4年間の市政運営について、私の掲げる8つの重要政策を中心に所見を述べさせていただきたいと思えます。

1つめは「新型コロナウイルス感染症対策」についてであります。

5月15日のうるま市長着任後、市民の生命・財産を守るために、早急な取り組みとして、6月1日に危機管理課を設置し、情報の一元化と指示系統の強化を図り、市民生活に予測不可能な影響を与える新型コロナウイルス感染症について、素早く、速やかに対応する体制を整えました。

また、以前より新型コロナウイルス感染症対策として、早急なワクチン接種の実施が最優先事項であると考え、国や島袋前市長への要請を行ってまいりました。

その結果、本市では4月15日より津堅島や島しょ地域のワクチン接種がスタートしており、現在はご高齢の方々や医療従事者を優先としながら段階的に進め、全市民の接種が完了するまで事業を迅速に進めてまいります。

併せて、PCR検査では国の無料検査事業を活用し、看護学校生徒や社交業の皆様が無料検査の実施を行い、市民の負担軽減のために、更なる国・県の予算確保に努めると共に、医療、介護、保育、障がい者施設に対する緊急時の支援策とマニュアルを整備いたします。

経済対策として観光業、飲食業、社交業をはじめとする、コロナ禍の影響を受けたあらゆる事業者へ支援策を講じ、経営的支援などに努め、これらの対策を基本とする、新型コロナウイルス感染症の終息及びアフターコロナに向けた取り組みを実施してまいります。

2つ目の重要政策として、「離島の経済・医療・文化を元気に」であります。

本市の島しょ地域の豊かな自然と観光資源を活用し、東海岸開発の促進を図るとともに、伊計島にあるN高等学校と市小中学校との教育連携や、マリン及びモータースポーツ等による地域の活性化を推進してまいります。

また、世界遺産勝連城跡・島しょ地域へ直結する観光用道路

や医療体制の強化、平安座地区から石油製品を全島域へ搬送する輸送用道路整備の実現に向け国と連携し、住みよい島しょ地域を目指します。

併せて、エイサー、獅子舞、ウスデーク等の歴史文化及び伝統行事等の継承・発展に係る各種支援策を実施し、地域に色濃く残る伝統文化として、県内外に向け、うるま市の魅力の発信を行ってまいります。

さらに、津堅島をはじめとした、島しょ地域の災害、防災、医療及び緊急時の搬送体制等について課題解決に向けた取り組みも合わせて推進してまいります。

3つ目の重要政策として、「子育てしやすいまちづくり」であります。

まず、待機児童ゼロの実現に向けて、保育施設整備及び保育士不足解消に向けた支援、小規模保育や学童保育への支援等を推進いたします。

また、復帰記念会館跡地を活用した「(仮称)子どもステーション」の整備計画により、子育て支援に関する様々な要望に応えられるよう、支援体制の構築を図ってまいります。

教育に関しては、GIGAスクール構想やデジタル化等を推進し、AI・ICT教育の支援と外国語教育の充実を図り、学力向上に邁進してまいります。

さらに教育施設の整備拡充と給食費の段階的軽減を推進するとともに、不登校児童・生徒への支援対策にも取り組んでまいります。

放課後対策として学童・子供たちの居場所づくりや児童館の支援対策を推進してまいります。

4つ目の重要政策として、「お年寄り・障がい者に優しいまち」づくりであります。

高齢化社会における高齢者の健康づくり支援事業やうるま市シルバー人材センターと連携した生きがいづくりを行うとともに、老老介護・ヤングケアラーの支援対策の充実・強化や介護事業所における各種支援及び連携を図るための取り組みを行ってまいります。

また、障がい者支援と市内バリアフリー化を推進し、交通弱者に対する支援も公共交通機関と連携し取り組むことで、高齢者や障がい者の方々に優しいまちづくりを目指します。

5つ目の重要施策は、「文化・スポーツで豊かなまちに」であります。

本市が誇る闘牛文化の継承と県内外へのPR促進をはじめとして、文化芸術活動拠点施設の設置による子ども達や市民の芸能活動の活性化を推進いたします。

また、うるま市具志川総合体育館等の老朽化したスポーツ施

設の改築を実施し、スポーツ振興強化を図るとともに、ネーミングライツも積極的に活用し、官民連携による取り組みを行います。

6つ目の重要政策は、「産業振興でまちを元気に」であります。

うるま市独自の特産品の開発支援やブランド化に加え、販路拡大、次世代の人財育成を行い、商工観光業の活性化を図ります。

また、家畜農家のし尿処理対策の推進や漁港整備事業の推進などにより、本市の農水産業の活性化を図ります。

さらに、積極的な企業誘致を展開することで、完全失業率の改善や市民所得の向上を目指し、豊かなまちづくりに繋げていきたいと考えております。

7つ目の重要政策は、「行財政改革で暮らしを豊かに」であります。

まず、本市における行財政改革の実施であります。大変厳しい財政状況を改善させるため、第4次行政改革大綱に基づく、行財政等の改革を強力に推進し自主財源の確保に努めてまいります。

また、PFIの推進や市職員が働きやすい職場環境づくり、AI・RPA・ICT技術の積極的な導入を推進し、行政サービスの向上に向け、可能な限り対応できる組織体制の構築を図

ってまいります。

8つ目の重要政策として、「インフラ整備で暮らしやすいまちへ」についてであります。

朝夕の渋滞緩和を図るため、沖縄北インターから海中道路までの新たな高規格道路の延伸・整備を国へ要請してまいります。

また、低地帯の津波対策のための防災・避難道路や中城湾港振興地区へ直行入域する産業用道路等、市内全域の道路整備事業を推進いたします。

その他、上下水道整備の推進や雨水幹線、低地帯浸水対策事業等を行うとともに、沖縄県で進めている鉄軌道構想を推進するなど、市民の皆様が暮らしやすいまちづくりに向けた取り組みを行ってまいります。

以上、私の掲げました8つの重要政策と第2次うるま市総合計画における各事業を推進するとともに、その他の分野におきましても、きめ細やかな事業展開を行い、市民の皆様の負託に応えるべく、市職員とともに取り組んでいきたいと考えておりますので、どうかご理解・ご協力をお願い申し上げます。

私は、平成10年9月に旧具志川市議会議員に初当選してから、6期22年にわたり、市議会議員として市政に関わってまいりました。

島袋俊夫前市長が掲げた「うるま市はひとつ！市民協働のま

ちづくり」を継承し、そこに私の考えも融合して、大好きなうるま市のため、現場主義でこれからの市政運営に邁進してまいります。

結びになりますが、これからの市政発展のため、精一杯頑張る所存でありますので、市民並びに議員各位のご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げ、私の所信表明とさせていただきます。

令和3年6月7日

うるま市長 中村正人